

《女川原子力発電所の取り組みを紹介するホームページのコンテンツをリニューアルしました》

当社は、女川2号機の再稼働に向けた安全対策工事について、本年11月の完了を目指し取り組んでいる中、発電所に係る情報発信をこれまで以上に充実させるため、ホームページのコンテンツをリニューアルしました。

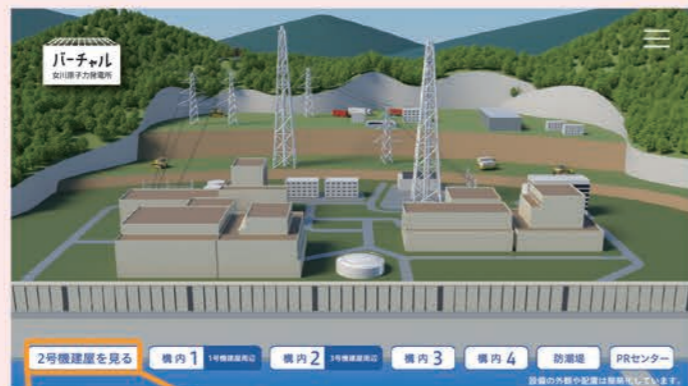
発電所の施設見学を疑似体験できる「バーチャル女川原子力発電所」では、2号機建屋の内部や安全対策設備などをよりイメージしやすいよう、3Dグラフィックと360度パノラマ画像で紹介しています。加えて、発電所の安全対策工事の進捗状況などをお知らせするコンテンツでは、紹介する設備を増やすとともに写真を時系列で表示し進捗状況が一目で分かるようにしています。これらのコンテンツについては、安全対策工事の進捗などに合わせて適宜更新してまいります。ぜひ、皆さま、ご覧ください。

発電所の
構内を見学
してみよう！

バーチャル
女川原子力
発電所



「バーチャル
女川原子力発電所」
はこちらから



2号機建屋を見る

「2号機建屋を見る」を
選択すると…

バーチャルマップで構内の各施設や安全対策
設備の配置状況が分かります。



タービン

「タービン」を選択

2号機建屋の大まかな構造や、原子炉圧力容器、
タービンなど主要設備の位置も確認できます。



2号機建屋の主要なエリアや設備は、360度
自由に動かすことができるパノラマ画像でご覧
いただけます。

主な安全対策と 工事状況



「主な安全対策
と工事状況」は
こちらから

防潮堤の工事は
どれくらい進んで
いるのかな？



「矢印」を押すと…



発電所の安全対策と
工事の進捗状況が
わかるね。



《女川原子力発電所事業者防災訓練を実施しました》

3月7日、原子力災害発生時における対応力向上を目的に、2022年度女川原子力発電所事業者防災訓練を実施しました。

今回の訓練は、大規模な地震が発生した後、発電所敷地内の複数個所での火災、2号機における原子炉冷却機能の喪失、3号機における汚染傷病者の発生などの事象が次々と発生する想定で行いました。

訓練を通じて、各事象へ適切に対応できること、関係個所との情報共有が速やかに実施できることを確認しました。

当発電所では、今後も各種訓練などを通じて、災害時における対応力向上に努めてまいります。

発電所対策本部訓練の様子



対応の指揮をとる阿部所長



地震発生後、発電所の状況を確認する所員

発電所敷地内の消火活動訓練の様子



迅速に放水の準備を行う



風向きや火災の状況に合わせて的確に放水

《女川原子力発電所の情報公開基準を策定しました》

当社は、女川2号機の再稼働を見据え、「女川原子力発電所情報公開基準」を策定し、本年4月1日より運用を開始することとしました。

当発電所における設備や機器の故障などに関しては、これまでも、法令や自治体との安全協定において国や自治体に報告が必要な事象などについて、適宜公表してまいりました。

このたび策定した情報公開基準は、それらに加え、原子炉の運転中に想定される事象を踏まえたうえで、重要度に応じた区分を定め、公表時期や手段を整理したものです。

当社としましては、引き続き、安全確保を最優先に女川2号機の再稼働に向けた取り組みを進めるとともに、より分かりやすい情報発信に努めてまいります。

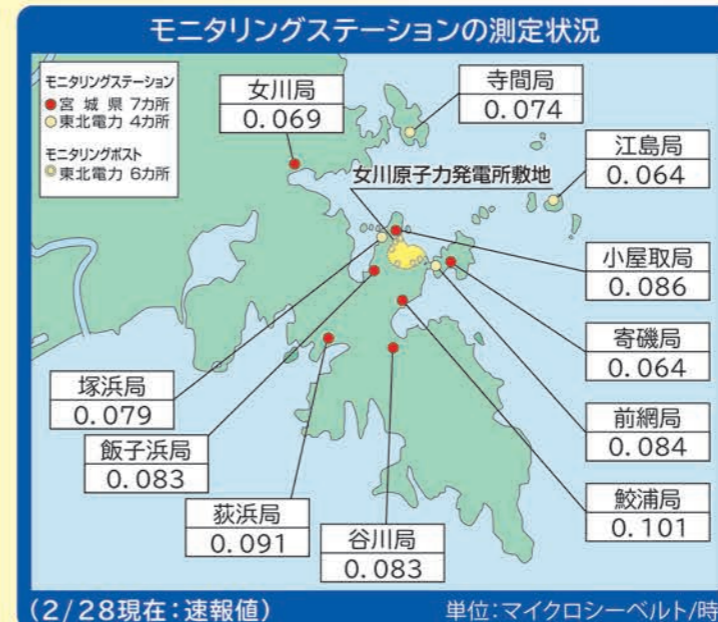
情報公開基準の詳細は、当社ホームページに掲載しております。



《女川原子力発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングポスト※1やモニタリングステーション※2で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

発電所敷地内に設置してあるモニタリングポストの2023年2月28日の測定値は、最大で0.046マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。



(参考)モニタリングポストの最小値と最大値※3

〈東北地方太平洋沖地震発生日〉	
2011年3月11日	0.027~0.064
〈地震発生後最大値〉	
2011年3月13日	1.8~21※4
〈地震発生から2年と至近2年の(4/1)値および前月値〉	
2012年4月1日	0.063~0.098
2013年4月1日	0.055~0.076
?	?
2021年4月1日	0.034~0.047
2022年4月1日	0.033~0.045
2023年2月1日	0.035~0.057
2023年2月28日	0.034~0.046

単位:マイクロシーベルト/時

※1 モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されています。

※2 モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。

※3 モニタリングポストの測定値は、宇宙線(宇宙空間を飛び交う高エネルギーの放射線)の影響分が含まれないため、モニタリングステーションの測定値より0.02~0.04マイクロシーベルト/時程度低い測定値となっています。

※4 東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い測定されたもので、測定された時間は約10分間です。再生紙を利用しています。

